

産業建設常任委員会意見交換会報告

令和2年11月25日（水）

去る10月22日開催の白山緑化協同組合との意見交換会について、その概要を報告します。

当日は、白山緑化協同組合の清水理事長を初め、役員の方、合わせて6名の出席をいただきました。

今回、「白山市の街路樹・公園樹木の維持管理について」をテーマとして、意見交換を行いました。その主な内容と意見について述べさせていただきます。

初めに、公園の役割についてであります。組合からは、市内の多数の公園をはじめ、斎場、墓地公苑において、樹木等の手入れが行き届いていない現状を御説明いただきました。公園は人が集うための場であり、手入れの行き届かない公園に人は集わない。公園に樹木等を植えたら、安全性の点から

も適正に管理すべきである。

維持管理費について、市の樹木等の維持管理委託業務における積算単価が県の水準に程遠い現状があり、市の積算単価を見直してほしい。

また、なぜ公園を作るのかを根本的などころから見直してほしいといった意見がありました。

委員からは、積算単価が県の水準に準じていないのは大いに問題があるという意見がありました。

次に、街路樹についてであります。

事故防止のためにも街路樹の適正管理は大切であり、道路の新規整備の際は、整備後の維持管理費に合わせて、樹木の植栽規模を調整する必要があるのではないかとの意見がありました。

委員からは、街路樹の高木の剪定については危険なので専門業者に任せるべきであるという意見がありました。

次に、剪定等の業務委託についてであります。

高木の剪定等について、業務自体の危険性だけでなく樹木の適正な育成に配慮するためにも、専門業者に手入れさせていただくのが望ましいとの意見がありました。

委員からは、公園が本来の役割を果たすよう樹木等の適正管理について市に提言をしてはどうかという意見がありました。

また、組合から、若宮公園の戸室石の石積みについて、道路拡張に伴い白山ろくテーマパークに移設することのだが、白山手取川ジオパークという観点からいっても、手取川と関係のない戸室石はそぐわない。貴重な石積みであるため、もし移設するなら市内のもっと目立つ場所へ移設するよう市から県に働きかけてほしい。今の場所のままでも現状から少し下げて施工することも可能だと思うので検討してほしいという意見がありました。

このほか、市内の公園管理方法について、委員から、市民・企業・行政等が連携しながら市民の視点で公園を整備・管理していくパークマネジメントの手法を取り入れて

みてはどうかという提案がありました。組合からは大規模な公園で導入されているところがあり、本市の管理に適しているかは精査が必要との意見がありました。

最後に、委員から、今後の公園樹木等の維持管理について、市と業者、並びに客観的に意見できる第三者を交えた協議の場を定期的に設けていく必要があるという意見があり、組合からも賛同し協力していくという意見をいただきました。

以上、主な意見を述べましたが、ほかにも専門業者として景観保持や、公園や道路の安全確保等の観点から多くの意見をいただきました。

以上で意見交換会の報告を終わります。